

産業・観光

空飛ぶロボットに力

名古屋市のキャリアオ技研

【大垣市立北小6年・田口裕貴】
 「ロボット」といえば、どんなものを想像するだろう。名古屋市中村区にある「キャリアオ技研」は、空を飛ぶロボットの研究に力を入れている会社である。

この空を飛ぶロボットは、社長の富田茂さんの発案でつくられ、年に一度開かれる「熱田の森ロボット競

技会」にも出場したそうだ。会社では、このロボットをビジネスに活用していきたい、と考えている。

同ロボット競技会を主催する名古屋工学院専門学校テクノロジィ学部長の村岡好久先生にも話を聞いた。村岡先生は、ロボットが動く様子を見るのは自分の分身が動いているようにうれしい、と話してくれた。



教えてもらいながらロボットの操作をしてみた。名古屋市中村区のキャリアオ技研

ロボット競技会については、話を聞いているだけでこちらにも熱気や緊張感が伝わってくるようだった。競技会で使ったロボットは、村岡先生の学校で人材育成のために活用されるそうだ。

富田社長にこれからの研究を尋ねたところ、自分の意志で動く「自立型ロボット」をつくりたいとのことだった。未来のロボット計画は、僕たちの生活を便利にしてくれるだけでなく、いろんな分野で夢が広がっていることが分かった。

JR岐阜駅の「アクティブG」には近く、CAD(コンピュータ支援設計システム)とレーザー加工機を使い、その場でプラモデル作りが楽しめる工房を開設するそうだ。僕もぜひ行ってみたいと思う。

岐阜も子ども新聞 (^^)